

## 薬学基礎セミナー

責任者・コーディネーター	薬学教育学科 奈良場 博昭 教授 有機合成化学分野 河野 富一 教授		
担当分野・学科(分野)	構造生物薬学分野、創薬有機化学分野、薬学教育学分野、衛生化学分野、薬物代謝動態学分野、薬剤治療学分野、情報薬科学分野、機能生化学分野		
対象学年	5	区分・時間数	講義 12 時間
期間	通期		
単位数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

5年の終了時は、実務実習を終え、薬学部で学ぶほぼ全ての知識を修得していることとなる。この時期に、薬学基礎科目を再度復習し、最終学年を向かえる準備を行う。

### ・教育成果（アウトカム）

主要な基礎科目を問題演習を通して学修し、知識の充足を確認すると共に、今後の勉強方法や学修方針を考えることにより、最終学年に備えられる。  
(ディプロマ・ポリシー：2、4、7)

### ・到達目標（SBO）

1. 物質の物理的性質について説明出来る。
2. 化学物質の性質について説明出来る。
3. 生命現象について説明出来る。
4. 健康と環境について説明出来る。
5. 薬物の作用と体の変化について説明出来る。
6. 薬の生体内運命について説明出来る。

### ・講義日程

(矢) 西 201 西 2-A 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
1/31	木	1・2	薬学教育学分野 機能生化学分野 創薬有機化学分野 衛生化学分野 構造生物薬学分野	奈良場 博昭 教授 中西 真弓 教授 河野 富一 教授 杉山 晶規 准教授 阪本 泰光 准教授	薬理、生物、化学、衛生、物理、薬剤の各分野の問題演習をとおして、知識の確認をする。 1. 物質の物理的性質について説明出来る。 2. 化学物質の性質について説明出来る。 3. 生命現象について説明出来る。 4. 健康と環境について説明出来る。 5. 薬物の作用と体の変化について説

					明出来る。 6. 薬の生体内運命について説明出来る。
2/5	火	1	薬学教育学分野	奈良場 博昭 教授	薬理分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 薬物の作用と体の変化について説明出来る。
2/5	火	2	機能生化学分野	中西 真弓 教授	生物分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 生命現象について説明出来る。
2/15	金	1	創薬有機化学分野	河野 富一 教授	化学分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 化学物質の性質について説明出来る。
2/15	金	2	衛生化学分野	杉山 晶規 准教授	衛生分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 健康と環境について説明出来る。
2/22	金	1	構造生物薬学分野	阪本 泰光 准教授	物理分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 物質の物理的性質について説明出来る。
2/22	金	2	薬物代謝動態学分野	幅野 渉 准教授	薬剤分野の問題演習をとおして、学習状況と知識の確認をする。 1. 薬の生体内運命について説明出来る。

・ 成績評価方法

定期試験により判定する（100％）。

・ 特記事項・その他

4 学年までに学習した薬理、生物、化学、衛生、物理、薬剤の各関連科目を復習し事前学習とすること。指定された問題を丁寧に解き、周辺知識を調べて解説ノートを作成すること。そのノートは、毎週の提出を義務づける。授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。